令和 8 年 11 月

令和 7 年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園　名	社会福祉法人ねりま共育ちの会 どんぐり山保育園
所在地	東京都練馬区春日町 4-1-13

１．活動のテーマ

【テーマ】

畑から食卓へ ～育てる・知る・味わう～／　4 歳「うみ組」5 歳「もり組」合同

【実施時期】

2025 年 4 月 – 10 月

【テーマの設定理由】

通年を通して、畑での作物の栽培や収穫、調理保育などを通じて、子どもたちが食材に触れ、育ちや変化に関心を持ちながら、食への興味を広げていく。

２．活動スケジュール

午前中から午後にかけて活動

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・栽培に使う素材　　：サツマイモの苗、土、水
・栽培に使う道具　　：土を掘るための道具（具体的な道具は要確認）
・畑での活動環境　　：区民農園のサツマイモ畑で、葉の成長や土の中の芋の様子を観察できる環境
・焼き芋会の素材　　：サツマイモ、濡れた新聞紙、アルミホイル
・焼き芋会の準備環境：子どもたちがサツマイモを新聞紙とアルミホイルで包み、焼き上がりを楽しみにしながら準備に参加できる環境

４．探究活動の実績

【活動の内容】

以前植えたサツマイモの苗が枯れてしまい、子どもたちとその理由を考えた。「暑い日に植えたから」「喉が渇いてたんだよ」と、それぞれに考えを伝え合う姿が見られた。枯れた苗を抜き、新たに土を掘って茎を植え直し、土をかぶせて水をたっぷりとあげた。植え方や水やりについて確認しながら、再び元気に育つことを願って世話を続けることにしたその後、うみ組ともり組で区民農園を訪れ、サツマイモ畑の様子を観察した。葉がたくさ

ん茂っていることに驚き、試しに土を掘ってみると、小さな芋や食べられた跡のある芋が見つかった。「栄養が足りないのかな？」「どうして食べられちゃったんだろ！」と、芋の成長や食べられた理由について、子どもたち同士で考えを伝え合っていた。
焼き芋会に向けた準備では、前日に洗ったサツマイモを濡れた新聞紙とアルミホイルで包んだ。「早くたべたい！」と焼き上がりを楽しみにしながら、次々と包み、「美味しく焼けますように！」とみんなで願いを込めて準備を終えた。栽培中の変化や疑問について考えたり、実際に手を動かして準備したりすることを通して、サツマイモの成長や食べるまでの過程への関心を深める活動となった。

【活動の様子】



【振り返り】
異年齢でさつま芋の苗を植え、時に雑草取りなども行い、世話をしてきた。お散歩の途中でどのくらい大きくなったのかを見に行ったりすることもした。夏場は暑いため大人主導で世話を行う形にはなったが、涼しくなってからは、再び子供達と世話をしていく中で、成長を観察しながら芋掘りの日を楽しみにした。4、5 才合同で沢山芋を収穫し、大きさを比べたり、数を数えたりした。それらを焼き芋にして食べる時も、焼き芋準備を子どもも一緒に取り組んだ。沢山出来たので、焼き芋の他に給食室でも調理してもらい、大満足の子ども達であった。焼き芋はお迎えに来る保護者にも食べてもらい、子ども達はそれも嬉

しそうであり、保護者に『食べた？』『どうだった？』と聞きながら、対話を楽しんでいた。